

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

「廃線反対」の声が次々に

久留里線廃線めぐり住民説明会

6月1日、久留里線に関する住民説明会が亀山地区（君津市）で開催されました。60席すべてが埋まり、沿線住民14人の発言はすべて廃線反対の意見でした。

一方、千葉県・君津市・JR千葉支社が設置した検討会議で座長になった日本大学理工学部・藤井敬宏特任教授は「鉄道はインフラではない」と発言。JR千葉支社の森原氏は「意見を総合的に判断していく」と回答しました。

地域の怒りとともに声を

JR東日本は「鉄道以外の売上を5割へ」と掲げ、「鉄道人員4千人削減」「転籍・副業促進」を打ち出しスイカや金融業、不動産業に舵を切ろうとしています。

「本数少ないから利用減」

「JR東の赤字穴埋めは」

久留里線説明会 住民が訴え

久留里線は千葉県君津市と山形県久留里町を結ぶ、全長約10.5kmの単線区間。1日あたり約1,000人が利用する。JR東日本は、この区間を「赤字穴埋め」の手段として、人員削減や副業促進などの施策を打ち出している。住民からは「本数少ないから利用減」「JR東の赤字穴埋めは」という声が多く聞かれた。説明会では、住民の訴えが活発に行われた。



山形県を走るJR久留里線の車両＝久留里＝山形県



久留里線廃線反対住民説明会

久留里線は、JR東日本の赤字穴埋め策として、人員削減や副業促進などの施策を打ち出している。住民からは「本数少ないから利用減」「JR東の赤字穴埋めは」という声が多く聞かれた。説明会では、住民の訴えが活発に行われた。

●鉄道の存続や代替手段をめぐる主な論点

	メリット	デメリット
運行	・鉄道が地域に貢献できる	・鉄道会社が所有する線路などの設備維持費がかかる
上下分離方式に移行	・鉄道会社は運行業務に専念でき、収支が改善される	・鉄道設備の撤去費用がかかる
路線バス	・目的や需要に応じ、柔軟に路線やダイヤを調整できる	・鉄道の影響を受け、乗客が減少する
BRT（バス高速輸送システム）	・鉄道の影響を受け、乗客が減少する	・鉄道の影響を受け、乗客が減少する
LRT（次世代路面電車）	・鉄道の影響を受け、乗客が減少する	・鉄道の影響を受け、乗客が減少する

鉄道は公共交通であり社会的インフラです。地域の怒りとともに廃線反対、融合化・兼務化、ジョブローテーション撤回の声をあげよう。

住民説明会での主な意見

- 5月11日の検討会に呼ばれた自治会の代表は「何の理由もなしに、直前に呼び出された。住民を代表できない」といった。
- JRは赤字で配当しているのに赤字を理由に廃線はおかしい
- 久留里〜上総亀山間は日中帯に5時間半も列車が来ない。利用したくても利用できない。
- 電力はどんな過疎地の一軒家でも電線は撤去しないで電気を送る。東電から電線撤去の話があるのか。（千葉県は「ない」と回答）
- 亀山ダムを維持するには（リスク管理の点でも）鉄道は必要。
- 子どもが学校に通うのに、久留里線が久留里止まりのため部活ができず悔しい思いをした。（他にも子どもが苦労した話が出されました）
- 国鉄・分割民営化の時、赤字路線は廃線にしないと聞いたのに赤字をいうのはおかしい。
- 観光協会の立場からも豊かな観光資源を活かし、利用者の誘致をやって欲しい。廃線にしないで欲しい。